

平成23年度

推薦入試学生募集要項

【大学入試センター試験を課さないもの】

- ・出願期間 平成22年11月2日（火）～9日（火）
- ・試験日 平成22年12月1日（水）教育福祉科学部（生活分野を除く）、経済学部、
医学部（看護学科）
平成22年12月1日（水）・2日（木）工学部
- ・合格者発表 平成22年12月14日（火）

【大学入試センター試験を課すもの】

教育福祉科学部（生活分野）

- ・出願期間 平成23年1月17日（月）～21日（金）
- ・試験日 平成23年2月4日（金）
- ・合格者発表 平成23年2月9日（水）



OITA UNIVERSITY

大分大学

工学部応用化学科が東京入試を実施します。

工学部応用化学科の志願者は、試験場を「大分検査場」「東京検査場」のいずれかから選択できます。

【大分検査場】

- ・大分市大字旦野原700番地
大分大学旦野原キャンパス

【東京検査場】

- ・東京都江戸川区船堀3-5-24 朝日信用金庫船堀センター内
コラボ産学官プラザ

詳細は47ページ「21. 検査場」をご覧ください。

目 次

大分大学アドミッション・ポリシー	1
【教育福祉科学部】	
教育福祉科学部アドミッション・ポリシー	5
1. 推薦入試募集人員	9
2. 出願資格及び推薦人員等	10
3. 選抜方法等	12
4. 採点・評価	15
【経済学部】	
経済学部アドミッション・ポリシー	19
5. 推薦入試募集人員	23
6. 出願資格及び推薦人員等	23
7. 選抜方法等	24
8. 面接, 採点・評価及び配点	24
9. 高大接続学習	24
【医学部】	
医学部アドミッション・ポリシー	27
10. 推薦入試募集人員	29
11. 出願資格及び推薦人員等	29
12. 選抜方法等	29
13. 採点・評価及び配点	30
【工学部】	
工学部アドミッション・ポリシー	33
14. 推薦入試募集人員	38
15. 出願資格及び推薦人員等	39
16. 選抜方法等	42
17. 採点・評価及び配点	42
【全学部共通事項】	
18. 出願手続	45
19. 障がいのある者等の事前相談	47
20. 受験の際の宿泊	47
21. 検査場	47
22. 合格者発表	50
23. 入学手続	50
24. 一般入試への出願	50
25. 情報提供	51
26. その他	51
【推薦入試出願書類等】	

大分大学アドミッション・ポリシー

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

意欲をもち、将来への可能性を秘めている人を求めています。

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 旺盛な知的好奇心をもち、新しい課題に積極的に取り組む人
3. 自分のもつ資質を磨き、能力を伸ばしたい人
4. 夢や目的をもち、周囲と協力しつつその実現に向けて努力する人
5. 志をもって国際社会及び地域社会への貢献をめざす人

【教育福祉科学部】

教育福祉科学部

アドミッション・ポリシー

推薦入試募集人員

出願資格及び推薦人員等

選抜方法等

採点・評価

教育福祉科学部アドミッション・ポリシー

基本理念

教育・人間福祉を基盤とする教育・研究を推進し、地域の教育・社会・文化の発展のため、専門的知識を創造的・総合的に活用できる人材の養成を行い、豊かな共生社会の実現に寄与することです。

教育の目標

- 1 9年間の義務教育を見渡すことのできる広い視野と福祉の心を持ち、教育の現場で澁刺と活躍しうる実践的指導力のある教員を養成します。（学校教育課程）
- 2 「大分から世界へ」を合言葉に国際理解、情報処理、総合的芸術表現に関する教育・研究を行い、国際化社会・高度情報化社会に対応する感性豊かな発想と表現力をもつ人材を育成します。（情報社会文化課程）
- 3 子どもや高齢者、さまざまな障がいをもつ人などを対象とした社会福祉や、すべての人たちが、心身ともに健康で、安心して暮らせる社会の実現をめざす心理・スポーツ健康・生活・環境などの多様な分野で、「人間福祉」の視点をもって活躍しうる人材を養成します。（人間福祉科学課程）

求める学生像

学校教育課程

- ・教育に取り組む意欲と情熱のある人
- ・現代の人間・社会の諸問題に興味・関心のある人
- ・自ら問題を解決しようと努力する人
- ・子どもと信頼しあい、ともに学び行動できる人
- ・他者への思いやりがあり、周囲と積極的に協力しあえる人

情報社会文化課程

- ・知的好奇心が旺盛で、自己表現のための努力を惜しまない人
- ・国際化・高度情報化社会で活躍する意欲のある人
- ・自国と他国の社会や文化に対する理解を深めたい人（社会文化コース）
- ・情報技術を利用して、「情報発信」をめざす人（情報教育コース）
- ・地域文化の創造に貢献する志のある人（総合表現コース）

人間福祉科学課程

- ・すべての人々がともに生きる社会の実現をめざし、自ら考え、実践・努力する人
- ・生活上の困難に出合った人の苦しみや悩みに共感し、ともに解決の方法を考えようとする人（社会福祉コース）

- ・他人の心の痛みを理解し、相互成長的な人間関係づくりをめざす人（心理分野）
- ・健康と生涯スポーツに深い関心を持ち、それに関わる事業や活動に積極的に取り組める人（スポーツ・健康分野）
- ・衣・食・住の各面において、これからのライフスタイルのあり方を構想していける人（生活分野）
- ・人間生活を中心に、自然・社会など個々の生活環境について深い興味と問題意識をもっている人（環境分野）

入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試，社会人入試などを実施し，アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

・一般入試（前期日程）

総合的な学力をみるため，大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験は主に5～6教科7科目とし，個別学力検査では募集単位ごとに小論文及び教科の試験又は実技検査を課しています。小論文では論理的思考力，表現力（文章構成力を含む）をみます。実技検査では技能，感性，基礎運動能力及び表現力の基本的な資質をみます。

・一般入試（後期日程）

総合的な学力をみるため，大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験で指定する教科・科目は募集単位ごとに決められています。また個別学力検査は募集単位ごとに面接，小論文又は実技検査を課しています。面接では勉学意欲，積極性，理解力及び自己表現能力をみます。

・推薦入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，小論文，面接（募集単位によっては実技，作品審査が加わる）及び提出書類（募集単位によっては作品を含む）を総合的に判断して選考します。人間福祉科学課程生活環境福祉コース生活分野では大学入試センター試験を課しています。

・帰国子女入試，中国引揚者等子女入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，小論文，面接及び提出書類を総合して選考します。ただし，一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力，表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲，積極性，理解力及び自己表現力をみます。帰国子女入試は情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

・ 社会人入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

・ 私費外国人留学生入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接（募集単位によっては実技検査が加わる）及び提出書類を総合して選考します。ただし、出願資格として日本留学試験を受験し所定の要件を満たしていることが必要です。小論文では論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、習得していることを前提として行われます。このような点から、大学入試センターで受験を課している教科・科目について、および前期日程において各コース・分野で課している教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、習得するとともに、応用的な力を養うことが必要です。特別選抜（生活分野を除く）や後期日程入試においては、これら教科・科目の学科試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、習得していることが望まれます。

国 語：言語を通して的確に理解し、論理的に思考し表現すること、なかでも、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。また、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合うことや我が国の言語文化や国語の役割や特質について理解を深めようとする意欲にあふれていることが望まれます。

地理歴史・公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を習得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数 学：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を習得する必要があります。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことも望まれます。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。

理 科：理科においては自然や科学に対する関心や探求心を土台として、各科目における基礎的な概念については一定の理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに単に暗記した知識を問題に当てはめるだけではなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも望まれます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが望まれます。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語の力を持つことが必要です。

1. 推薦入試募集人員【教育福祉科学部】

学部	課程・コース	入学定員	各推薦基準については、「出願資格」に注意してください。	募集人員	
教育福祉科学部	特別支援教育コース	10		5	
	学校教育課程 教科教育コース	65	音楽選修	2	
			美術選修	2	
			保健体育選修	2	
			技術選修【注】	工業に関する学科・課程，総合学科，普通科を含むその他の学科・課程から	4
			家庭科選修	3	
			英語選修	3	
	小計			21	
	情報社会文化課程	社会文化コース	15		5
		情報教育コース	20		5
		総合表現コース	15		5
		小計			15
	人間福祉科学課程	社会福祉コース	35	福祉に関する学科・課程から	1
				普通科を含むその他の学科・課程から	5
		心理健康福祉コース	30	心理分野	5
				スポーツ・健康分野	3
		生活環境福祉コース	30	生活分野	2
環境分野				2	
小計			18		
計			54		

【注】工業に関する学科・課程，総合学科からの合格者数は，普通科等からの合格者数を下回らないように選抜します。ただし，合格者数が募集人員に達しない場合は，この限りではありません。

2. 出願資格及び推薦人員等【教育福祉科学部】

課 程	コース	選修・分野	募集人員	推薦人員
学校教育課程	教科教育コース	保健体育選修	2	各高等学校等から2名以内
情報社会文化課程	社会文化コース		5	各高等学校等から2名以内
	情報教育コース		5	各高等学校等から2名以内
人間福祉科学課程	社会福祉コース		6	各高等学校等から2名以内
	心理健康福祉コース	心理分野	5	各高等学校等から1名

〔出願資格〕

高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望するコース（選修・分野）への専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

1. 調査書の学習成績概評が**A段階**に属する者
2. 人物的に優れ、かつ、志望するコース、選修、分野の学習に熱意を有する者
（社会福祉コースでは、社会福祉に強い関心と実践的な意欲を有する者）
3. 合格した場合は、入学することを確約できる者

課 程	コース	選修・分野	募集人員	推薦人員
学校教育課程	特別支援教育コース		5	各高等学校等から2名以内
	教科教育コース	音楽選修	2	各高等学校等から2名以内
		美術選修	2	各高等学校等から2名以内
		家庭科選修	3	各高等学校等から2名以内
		英語選修	3	各高等学校等から1名
情報社会文化課程	総合表現コース		5	制限なし
人間福祉科学課程	心理健康福祉コース	スポーツ・健康分野	3	各高等学校等から2名以内

〔出願資格〕

高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望するコース（選修・分野）への専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

1. 高等学校等の学業成績が優秀な者
2. 人物的に優れ、かつ、志望するコース、選修、分野の学習に熱意を有する者
3. 合格した場合は、入学することを確約できる者

課 程	コース	選 修	募集人員	推薦人員
学校教育課程	教科教育コース	技術選修	4	各高等学校等から2名以内
<p>〔出願資格〕 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望する選修への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，かつ，志望する選修の学習に熱意を有する者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>注：工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）している場合は，「工業に関する学科・課程，総合学科」からの出願として選抜します。それ以外の場合は，「普通科を含むその他の学科・課程」からの出願として選抜します。</p>				

課 程	コース	分 野	募集人員	推薦人員
人間福祉科学課程	生活環境福祉コース	生活分野	2	制限なし
<p>〔出願資格〕 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望する分野への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 高等学校等において，「家庭基礎」「家庭総合」「生活技術」などの普通教育に関する科目を除く，「消費生活」「発達と保育」「家庭看護・福祉」「リビングデザイン」「服飾文化」「フードデザイン」などの家庭に関する専門科目を12単位以上履修した者 3. 人物的に優れ，かつ，志望する分野の学習に熱意を有する者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 				

課 程	コース	分 野	募集人員	推薦人員
人間福祉科学課程	生活環境福祉コース	環境分野	2	各高等学校等から2名以内
<p>〔出願資格〕 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の農，林，水産及び工業に関する学科・課程又は総合学科，理数科を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望する分野への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，かつ，志望する分野の学習に熱意を有する者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 				

3. 選抜方法等【教育福祉科学部】

(1) 大学入試センター試験を課さないもの

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、調査書、志望理由書、推薦書、本人持参の作品審査（教科教育コースの美術選修及び総合表現コースの美術表現）、スポーツ等に関する調査書（教科教育コースの保健体育選修のみ）及び下記検査を総合的に評価し合格者を決定します。

試験日：平成22年12月 1日（水）

課程・コース等		検査項目	検査時間	集合時刻及び 集合場所
学 校 教 育 課 程	特別支援教育コース	小論文	9：30～10：30	午前9時に 教育福祉科学部 棟玄関前に集合 面接・実技の終 了時刻は変更す ることがありま す。
		面接	11：00～16：30	
	教科教育コース 音楽選修	小論文	9：30～10：30	
		実技	10：45～	
		面接	実技終了後引き続い て行います。	
	教科教育コース 美術選修	簡単な実技	9：30～10：30	
		面接	11：00～	
		本人持参の 作品審査	面接終了後引き続い て行います。	
	教科教育コース 保健体育選修	小論文	9：30～10：30	
		面接	11：00～16：30	
	教科教育コース 技術選修	小論文	9：30～10：30	
		面接	11：00～16：30	
	教科教育コース 家庭科選修	小論文	9：30～10：30	
		面接	11：00～16：30	
教科教育コース 英語選修	小論文	9：30～10：30		
	面接	11：00～16：30		
	※小論文及び面接は、ともに英語に よる内容を含む。			
情 報 社 会 文 化 課 程	社会文化コース	小論文	9：30～11：00	
		面接	12：30～16：30	
	情報教育コース	小論文	9：30～11：00	
		面接	12：30～16：30	
	総合表現コース	小論文	9：30～10：30	
		面接	11：00～	
実技（美術 表現は本人 持参の作品 審査）	面接終了後引き続い て行います。			
人 間 福 祉 科 学 課 程	社会福祉コース	小論文	9：30～10：30	
		面接	13：00～16：30	
	心理健康福祉コース 心理分野	小論文	9：30～10：30	
		面接	11：00～16：30	
	心理健康福祉コース スポーツ・健康分野	小論文	9：30～10：30	
		面接	11：00～	
		実技	13：00～16：30	
	生活環境福祉コース 環境分野	小論文	9：30～10：30	
面接		11：00～16：30		

【注】面接・実技の検査時間中に昼食を取ることがあるので、昼食を検査会場に持参してください。

教育福祉科学部実技検査等の内容

(表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該コース・分野等に関わる資質を評価します。)

課程等	検査項目及び検査の内容																				
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学校教育課程</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">音楽</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実技検査</p>	<p>1 基礎検査 次の2つの検査を行います（全員必須）。</p> <p>(1) 聴音 単旋律の書き取りの検査を行います。</p> <p>(2) コールユーブンゲン コールユーブンゲン第1巻、No.39~85（原書番号）の中から1曲を検査当日指定します。固定ト唱法、移動ト唱法のいずれかで歌ってください。</p> <p>2 音楽表現の審査 ピアノ、声楽のいずれかを選択してください。</p> <p>○ピアノ ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタの中から1曲を選び、第1楽章又は終楽章（ただし、緩徐な楽章は除きます。）を暗譜、繰り返しなしで演奏してください。 （演奏する曲の作曲家・曲名・楽章等は、所定の曲目調査票に記入の上、入学志願書とともに提出してください。）</p> <p>○声楽 次の歌曲の中から1曲を選び、暗譜、原語で歌ってください。 （歌う曲の作曲家・曲名は所定の曲目調査票に記入の上、入学志願書とともに提出してください。なお、移調を希望する場合は、曲目調査票の当該欄に○印をつけ、伴奏譜を入学志願書とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">*</td> <td style="width: 40%;">Intorno all' idol mio</td> <td style="width: 20%;">チェスティ</td> <td style="width: 10%;">作曲</td> <td style="width: 20%;">ホ 短 調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">*</td> <td>Già il sole dal Gange</td> <td>A.スカルラッティ</td> <td>作曲</td> <td>変イ長 調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">*</td> <td>Sento nel core</td> <td>A.スカルラッティ</td> <td>作曲</td> <td>へ 短 調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">*</td> <td>ふるさとの</td> <td>平井 康三郎</td> <td>作曲</td> <td>へ 長 調</td> </tr> </table>	*	Intorno all' idol mio	チェスティ	作曲	ホ 短 調	*	Già il sole dal Gange	A.スカルラッティ	作曲	変イ長 調	*	Sento nel core	A.スカルラッティ	作曲	へ 短 調	*	ふるさとの	平井 康三郎	作曲	へ 長 調
*	Intorno all' idol mio	チェスティ	作曲	ホ 短 調																	
*	Già il sole dal Gange	A.スカルラッティ	作曲	変イ長 調																	
*	Sento nel core	A.スカルラッティ	作曲	へ 短 調																	
*	ふるさとの	平井 康三郎	作曲	へ 長 調																	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">美術</p>	<p>1 簡単な実技検査：鉛筆により B3 画用紙に静物の描写を行います（1時間）。 ※鉛筆、ネリゴムと消しゴムを持参してください。</p> <p>2 本人持参の作品審査（作品に関する簡単な質疑応答があります。） ・持参（審査）する作品数は2点。その他参考資料として、審査対象以外の作品の写真を持参してもかまいません。</p> <p>提出作品の大きさ、ジャンル、形式は問いません。（例：デッサン、水彩画、油彩画、版画、彫刻、立体造形、デザイン、陶芸、木工、ビデオ、写真、インスタレーション等） ※本学所定の作品証明書を添付してください。 ※提出作品は、試験当日 12 ページに記載されている集合場所（教育福祉科学部棟玄関前）に持参してください。 ※提出作品の運搬を配送業者に依頼する場合は、あらかじめ入試課入試企画グループに連絡してください。</p>																				

課程等		検査項目及び検査の内容		検査当日持参するもの
情報 社会 文化 課程	総合 表現	実技 検査	次のAからCの中から1項目を選択してください。	
			<p>A. 身体表現：与えられた課題に基づいて、5分程度の身体による作品を創作し、演技してください。</p> <p>B. 美術表現：本人持参の作品審査 (作品に関する簡単な質疑応答があります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持参(審査)する作品は2点。その他参考資料として、審査対象以外の作品の写真を持参してもかまいません。 ・ 提出作品の大きさ、ジャンル、形式は問いません。 (例：デッサン、陶芸、木工、ビデオ、写真、インスタレーション等) <p>※本学所定の作品証明書を添付してください。 ※提出作品は、試験当日12ページに記載されている集合場所(教育福祉科学部棟玄関前)に持参してください。 ※提出作品の運搬を配送業者に依頼する場合は、あらかじめ入試課入試企画グループに連絡してください。</p> <p>C. 音楽表現：次の3つの検査を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新曲視唱 出題された旋律を、固定ト唱法、移動ト唱法のいずれかで歌ってください。 2. 即興演奏 与えられたテーマによって1分間程度の即興演奏をしてください。演奏手段は任意に選んでかまいません。 3. 音楽による自己表現 任意の楽曲を1曲選び(志願者が作曲した楽曲でもかまいません。)、演奏してください。演奏手段は、声楽、ピアノのいずれかです。 ※本学所定の曲目調査票に演奏曲目等を記入し、入学志願書とともに提出してください。 ※声楽の場合は、志願者氏名を明記したピアノ伴奏譜を、入学志願書、曲目調査票とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。 	<p>表現に適した服装。 床面の都合でトウシューズは使用できません。</p> <p>ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自持参してください。</p>
人間 福祉 科学 課程	(スポーツ・健康) 心理 健康 福祉	基礎 実技	与えられた運動課題を遂行する基礎的能力を検査します。	<p>運動服</p> <p>屋内用スポーツシューズ</p>

【注1】 実技で、昼食が必要な場合には検査時間中に昼食時間帯を設けますので、検査場に昼食を持参してください。

【注2】 実技検査等の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のことはお答えできません。

(2) 大学入試センター試験を課すもの

(人間福祉科学課程 生活環境福祉コース 生活分野)

大学入試センター試験の成績，調査書，志望理由書，推薦書及び面接を総合的に評価し合格者を決定します。

大学入試センター試験日：平成23年1月15日（土）・16日（日）

国語「国語」	1科目		
地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」		から 1科目	から 2科目
数学①「数学I」「数学I・数学A」 数学②「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」 「情報関係基礎」		から 1科目	
理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 理科③「物理I」「地学I」		から 1科目	
外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	から	1科目	
(2教科2科目)			

【注】「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校等において、これらの科目を履修した者に限ります。

大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、0点ではなく不合格となります。（リスニングテストを免除された者は除く。）

入学者選抜の配点にあたっては、まず大学入試センター試験「英語」の筆記試験とリスニングテストの成績の合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。次に下記の表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

面接試験日：平成23年2月4日（金） 10:00～

※ 受験者は午前9時30分までに教育福祉科学部棟玄関前に集合してください。

大学入試センター試験等の配点

大学入試センター試験（前年度成績は利用しません。）									面接	合計
国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	理科③	外国語		
(100)	(100)		(100)		(100)			(100)	300	500

【注】大学入試センター試験は受験している教科・科目のうち高得点の2教科・科目を合否判定に使用します。

4. 採点・評価【教育福祉科学部】

- ・ 小論文では現代社会の抱える課題や当該コース・分野に関わる問題への関心や理解力，論理的・科学的思考力，表現力をみます。
- ・ 面接では複数の面接委員により，当該コース・分野への関心・意欲，理解力，表現力をみます。
- ・ 実技検査では当該コース・分野に関わる表現力，音楽的能力，造形力，運動能力をみます。

【 経済学部 】

経済学部アドミッション・ポリシー
推薦入試募集人員
出願資格及び推薦人員等
選抜方法等
面接，採点・評価及び配点
高大接続学習

経済学部アドミッション・ポリシー

教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を育成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学する人は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。とくに、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分もち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員や研究調査の仕事、また大学院進学などをめざす人）

- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設などで働くことをめざす人）

《各学科の特色》

本学部は、次の三つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したものです。学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めますが、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動から構成される経済現象の全体像について学びます。分析にあたっては、さまざまな経済現象の関連性に着目して、それらの因果関係を明らかにすることを重視します。

〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる諸問題を正確に分析し、解明するための方法を学びます。基本的には経営学・会計学・商学を中心にして、理論と実践の統合をはかっています。

〈地域システム学科〉

地域システム学科は、地域レベルで生じているさまざまな地域問題を社会学・地理学・社会福祉学・法学・コミュニケーション学などに立脚しながら総合的・学際的にとらえ、その具体的解決策を模索することを目的としています。

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（普通推薦、商業推薦）、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることをめざしています。

・一般入試（前期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は6教科7科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を選択します。

・一般入試（後期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課します。小論文では、社会科学の素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

・推薦入試（普通推薦、商業推薦）

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学の素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲を持つ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書及び調査書等による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。

小論文では、社会科学の素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。

・帰国子女入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学の素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・中国引揚者等子女入試

大学入試センター試験を免除し、英語、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学の素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・社会人入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学の素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・第3年次編入学

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

経済学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力

地理歴史・公民：各科目の基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心

数学：各科目の内容を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）

理科：各科目の基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心

5. 推薦入試募集人員【経済学部】

学部	学 科	入学定員	各推薦基準については、「出願資格」に注意してください。	募集人員
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	305	普通推薦	50
			商業推薦	30
	計			80

【注】経済学部は、入学後に所属学科を決定します。

6. 出願資格及び推薦人員等【経済学部】

学 科	募集人員	推薦人員
経済学科 経営システム学科 地域システム学科	普通推薦 50名	各高等学校等から4名以内
	商業推薦 30名	制限なし

〔出願資格〕

（普通推薦）

高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の普通科又はその他の学科で本学が普通科に準ずると認める学科・課程（いわゆる職業教育を主とする学科以外の学科）を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

1. 調査書の学習成績概評が**A段階**に属する者
2. 校内外を問わず自主的勉学ないし活動において特に優れた成果をあげている者
3. 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
4. 合格した場合は、入学することを確約できる者

（商業推薦）

高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の商業に関する学科・課程又はその他の学科を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

ただし、**商業に関する学科・課程以外**を卒業又は卒業見込みの者については、**商業に関する教科・科目を20単位以上修得**（見込みを含む）していなければなりません。

1. 高等学校等の最終年次における成績が**上位10%以内**の者
2. 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
3. 合格した場合は、入学することを確約できる者

7. 選抜方法等【経済学部】

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、志望理由書、推薦書、調査書、小論文及び面接を総合的に評価し合格者を決定します。

試験日：平成22年12月1日（水）

普通推薦

検査項目	検査時間	集合時刻及び集合場所
小論文	9:30～11:00	午前9時に経済学部棟玄関前に集合
面接	13:00～16:00	

【注】検査開始時刻に遅刻した場合は、受験できません。

商業推薦

検査項目	検査時間	集合時刻及び集合場所
面接	9:00～12:00	午前8時30分に経済学部棟玄関前に集合
小論文	13:30～15:00	

【注】検査開始時刻に遅刻した場合は、受験できません。

8. 面接、採点・評価及び配点【経済学部】

(1) 面接

・面接は、課題についてのグループによるディスカッション方式で行います。

(2) 採点・評価

・小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

・面接では、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

・志望理由書、推薦書、調査書等提出書類では、高校での活動や本学入学後の勉学意欲についてみます（志望理由書は、内容とその表現の両方を評価します）。

(3) 配点

・試験の各配点は下記のとおりです。

小論文	面接	志望理由書・推薦書・調査書等提出書類
60点	60点	30点

【注】必要な検査項目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

9. 高大接続学習【経済学部】

合格者には、入学までの間、本学から学習課題を課します。

【 医 学 部 】

医学部アドミッション・ポリシー
推薦入試募集人員
出願資格及び推薦人員等
選抜方法等
採点・評価及び配点

医学部アドミッション・ポリシー

基本理念

医と看護に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学及び看護学の知識並びに技術、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、更には医学、看護学研究者を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

医学科

(略)

看護学科

人々が心身ともに健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の習得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができるよう、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

求める学生像

医学科

(略)

看護学科

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の習得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

入学者選抜の基本方針

医学科

(略)

看護学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、看護学科では、一般入試と推薦入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の

学力や資質を評価しています。また、社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業者等を対象とした3年次編入学を実施しています。

- ・一般入試（前期日程・後期日程）

（略）

- ・推薦入試

推薦入試では、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接と集団面接を行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。また、高等学校長等の推薦書及び調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかという学習態度等を評価します。

- ・社会人入試

（略）

- ・3年次編入学

（略）

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

医学・医療を学ぶには、十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性、倫理性、社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は、高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識、技能、思考力、体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については、入学までに確実に習得することが必要です。

医学科

（略）

看護学科

国 語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力

地理歴史・公民：社会科学的な基礎知識と思考力

数 学：数学Ⅰまたは数学Ⅱの基礎的な知識、応用力と数理的思考力

理 科：物理Ⅰ，化学Ⅰ，生物Ⅰの知識と理学的思考力

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力，会話力

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的な知識と技能

10. 推薦入試募集人員【医学部】

学部	学 科	入学定員	募集人員
医学部	看 護 学 科	60	10
	計	60	10

11. 出願資格及び推薦人員等【医学部】

学 科	募 集 人 員	推 薦 人 員
看 護 学 科	10 名	各高等学校等から 2 名以内
<p>〔出願資格〕</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次の要件を満たす者です。</p> <p>1. 高等学校等における学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がA段階に属し，高等学校長等が責任を持って推薦できる者</p> <p>※④に該当する者については，調査書に④と表示してください。</p> <p>2. 看護職者あるいは看護学研究者として活躍しようとする，はっきりした目的意識を持ち，他者への思いやりと共感，生涯学習への意志と体力を持った者</p> <p>3. 合格した場合は，入学することを確約できる者</p>		

12. 選抜方法等【医学部】

看護学科

大学入試センター試験を免除し，高等学校長等の推薦書，調査書及び自己推薦書と本学が実施する小論文，面接（個人面接及び集団面接）を総合的に評価し合格者を決定します。

なお，同点者がいる場合は，小論文の高得点者を優先します。

試験日：平成22年12月1日（水）

検査項目	検査時間	検 査 場
小 論 文	9：30～11：30	医学部（挟間キャンパス）
面 接	13：00～	

注1. 集合時間，集合場所の詳細については，受験票送付の際お知らせします。

注2. 遅刻による試験室への入室限度時刻は，試験開始後20分です。

13. 採点・評価及び配点【医学部】

看護学科

(1) 採点・評価

- ・調査書等からは，高等学校等における学習態度等を評価します。
- ・小論文においては，課題式や資料式問題について解答を求め，理解力，統合力，思考力，表現力，独創性，論理性などを評価します。
- ・個人面接においては，看護学を学ぶための適性，コミュニケーション能力，学習意欲，自己理解力などを総合的に評価します。
- ・集団面接においては，コミュニケーション能力，リーダーシップ，協調性などを総合的に評価します。

(2) 配点

- ・試験の各配点は，下記のとおりです。

小論文	面接	調査書・推薦書	合計
100	100	100	300

【 工 学 部 】

工学部アドミッション・ポリシー
推薦入試募集人員
出願資格及び推薦人員等
選抜方法等
採点・評価及び配点

工学部アドミッション・ポリシー

基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

教育の目標

学生の立場にたった教育体制のもとで、自らの課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することです。

求める学生像

環境や社会に対する影響も予見しながら自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、先進的科学技术によって人類福祉に貢献する意欲をもち将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

- 1 工学の基礎をなす科目に対して基礎学力を備え、広範囲な事象に対して強い知的好奇心をもっている人
- 2 新しい課題を自ら見いだす着想力をもち、この課題に立ち向かう強い意志とねばり強さをもっている人
- 3 豊かな感性と表現力をもち、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく姿勢をもっている人
- 4 技術者として、国際舞台でリーダーシップと行動力を発揮することに強い意志をもっている人

特に、各学科では、次のような人を求めています。

〈機械・エネルギーシステム工学科〉

本学科は、機械に関する基礎技術と利用技術、メカトロニクス、ロボティクスなどの制御の分野、新エネルギー、エネルギーの有効利用に関する技術開発および利用技術に重点を置く、機械工学・電気工学の総合的な教育と研究を行います。

以上のような教育理念に基づき、本学科では次のような人を求めています。

- 1 数学及び物理に関する基礎学力を備え、国語及び英語に関する基礎的な語学力も有し、自分の意見を論理的に説明できる人
- 2 自ら問題を見だし、計画的にその解決をめざすことができるリーダーシップと行動力をもっている人
- 3 ものづくりに興味があり、そのために必要な深い専門知識を身につけて創造的技術

者や研究者となることをめざし、それによって人のために役立ちたいという強い意志をもっている人

- 4 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

〈電気電子工学科〉

本学科は、電気、電子、情報、通信等に代表される電気電子工学の広範な分野の中で、社会や環境に対する影響も予見しながら、人類の幸福・福祉に役立つ技術とは何かを積極的に考え、技術の発展や学問の進展に貢献することのできる人材の育成を目的にしています。

以上のような観点から、本学科ではつぎのような人を求めます。

- 1 高等学校での基礎的な学習内容をよく理解して、電気電子工学並びに幅広い教養を学ぶための基礎学力をもっている人
- 2 現代社会の抱える課題や科学技術に関心があり、自ら学び理解しようという知的好奇心をもっている人
- 3 何事にも積極的にチャレンジする行動力をもっている人

〈知能情報システム工学科〉

本学科は、人の知を拡大する新世代知的IT（情報技術）革命の担い手となる国際的技術者・研究者を育てるという教育理念に基づき、次のような人を求めます。

- 1 情報科学の基礎から情報・知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組むことのできる基礎的な能力と旺盛な知的好奇心をもっている人
- 2 高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人
- 3 豊かな感性と表現力・コミュニケーション能力をもち、自ら考えて行動し、夢の実現に向かってチャレンジすることができる人

〈応用化学科〉

私達が将来にわたって地球上で共存し幸福に暮らしていくためには、エネルギー・情報・環境に関して生じてくる複雑な問題を科学的に解決していかなければなりません。化学は物質の存在形態と変化の本質を明らかにしようとする学問ですから、種々の課題の解決における化学の知識と技術の重要性は、新しく形を変えつつますます大きくなってきています。

本学科は、私達の生産活動、毎日の生活や自然現象を化学的な立場から自ら進んで考え、化学技術によって人類福祉に貢献することのできる技術者、研究者の養成を目標にしています。

応用化学科の教職員は、一生懸命自分を高めようと頑張る学生諸君を力いっぱい支援します。

以上の観点から、本学科では次のような高校生や社会人を求めています。

- 1 自然界や人間社会，産業社会のさまざまな現象について常に科学的・化学的観点から興味をもつことができる人
- 2 工学を学ぶために必要な，数学，化学とともに物理あるいは生物について基礎学力をもっている人
- 3 英語，国語の基礎的語学能力をもとに，与えられた課題について論理的かつ自由な発想で考え，意見を発表することができる人
- 4 学習の目標を達成する強い意志をもっている人

〈福祉環境工学科〉

本学科は，すべての人が幸福を感じられる高度福祉社会を，工学的側面から実現するための研究開発と人材養成を行うことを理念にしており，このような目標に向かって努力できる人を求めています。

・建築コース

建築は生活の器として人間に密接な存在であり，都市や地域の環境を構成する基本的な要素です。そのため，建築には自然と共生しながら，人間生活の安全性・快適性を追求し，その質を向上させながら，長年にわたって持続させていくことが要求されます。したがって，自然科学や工学の分野だけでなく，人文，社会科学から芸術にわたる幅広い知識が必要となります。

本コースでは，高度化・多様化・国際化している社会のニーズに対応できる豊かな発想力，豊かな人間性及び幅広い見識を兼ね備えた建築家，建築技術者，研究者の育成を目標としています。そのため本コースでは以下のような意欲と情熱をもつ人を求めています。

- 1 工学，人文，社会科学並びに芸術の分野に関心があり，幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 2 あらゆる立場の人とコミュニケーションできる能力と見識を有する技術者になりたいという旺盛な意欲をもっている人
- 3 自ら課題を見つけだし，それを解決できる行動力と柔軟な思考力を獲得するため努力をする人

・メカトロニクスコース

機械部品と電気部品とその制御装置が複合されたメカトロニクス装置 (= Mechanics + Electronics, ロボットはその一例)は，多くの人の負担を軽減すると共に，今まで人しかできなかった作業も可能にしつつあります。

本コースは，このメカトロニクス装置に関する技術を通じて社会のニーズに貢献するメカトロニクス技術者・研究者の育成を目標とし，次のような人材を求めています。

- 1 自分の力を人々の生活の質の向上に役立てようとする気持ち『福祉マインド』を

- 持ち、これを育もうとする人
- 2 理工学、人文並びに社会科学の分野に関心があり、メカトロニクスに関する幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
 - 3 国際的なコミュニケーション能力を有する技術者になりたいという強い意志をもっている人
 - 4 自ら課題を見つけだし、それを解決できる行動力と柔軟な思考力をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試、帰国子女入試、私費外国人留学生入試を実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

・一般入試（前期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）および個別学力検査（数学、理科）により、専門分野の学習に必要な基礎学力を見ます。

・一般入試（後期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）により、専門分野の学習に必要な基礎学力を見るとともに、個別学力検査（面接）により、専門分野への関心や意欲と自己表現力を見ます。

・推薦入試

大学入試センター試験および個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、小論文Ⅰ、小論文Ⅱおよび面接により総合的に評価し、選抜します。小論文Ⅰでは、現代社会の抱える課題や科学技術への関心・理解、判断力・表現力を見ます。小論文Ⅱでは、いくつかの設問を通じて、基礎学力を含む論理的思考力や課題解決能力を見ます。また面接では、専門分野への関心・意欲・理解を見るとともに、積極性、自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み、理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・帰国子女入試

大学入試センター試験を免除し、本学で実施する学力検査（数学、理科、英語）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を見るとともに、積極性、自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み、理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学、理科、英語）、面接により総合的に評価し、選抜します。面接では、日本語能力、専門分野への関心・意欲・理解を見るとともに、積極性、自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み、理解

力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・第3年次編入学

面接，提出書類により総合的に評価し，選抜します。面接では，簡単な筆記試験及び口頭試問により，基礎学力や専門分野の学力を見るとともに，専門分野への意欲，積極性，論理的思考力，自己表現力についても評価します。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

工学部の教育においては，高等学校において学習する下記のような教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や入試区分等の違いもあるため，理解のレベルは個人によりそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については，入学までに身につけるよう期待します。

国 語：基礎的な文章読解力，論理的説明能力，作文能力

地理歴史・公民：地理，歴史，経済，社会などの基礎的な知識

数 学：「数学I」，「数学II」，「数学III」，「数学A」，「数学B」，「数学C」

理 科：「物理Iおよび物理II」，「化学Iおよび化学II」

外国語（英語）：基礎的な文章読解力およびコミュニケーション能力

14. 推薦入試募集人員【工学部】

学部	学 科	入学定員	各推薦基準については、「出願資格」に注意してください。	募集人員	
工 学 部	機械・エネルギー システム工学科	80	A 推 薦	9	
			B 推 薦	3	
	電 気 電 子 工 学 科	80	A 推 薦	13	
			B 推 薦	3	
	知能情報システム工学科	70	A 推 薦	10	
			B 推 薦	5	
	応 用 化 学 科	60	A 推 薦	10	
			B 推 薦	2	
	福祉環境工学科	建築コース	50	A 推 薦	3
				B 推 薦	5
		メカトロニクスコース	30	A 推 薦	6
				B 推 薦	2
計		370		71	

15. 出願資格及び推薦人員等【工学部】

学 科	募 集 人 員		推 薦 人 員
機械・エネルギーシステム工学科	A 推 薦	9名	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて4名以内
	B 推 薦	3名	
<p>〔出願資格〕</p> <p>(A推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 高等学校等において「物理Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>(B推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の機械又は電気に関する学科・課程又は総合学科を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科卒業見込みの者については，工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 			

学 科	募 集 人 員		推 薦 人 員
電気電子工学科	A 推 薦	13名	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて3名以内
	B 推 薦	3名	
<p>〔出願資格〕</p> <p>(A推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者，又は特に物理が優秀な者 2. 高等学校等において「物理Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>(B推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の電気又は電子に関する学科・課程又は総合学科を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科卒業見込みの者については，工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者，又は特に物理が優秀な者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 			

学 科	募 集 人 員		推 薦 人 員
知能情報システム工学科	A 推 薦	10名	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて3名以内
	B 推 薦	5名	
<p>〔出願資格〕</p> <p>(A推薦) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望学科への専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 高等学校等において「物理Ⅱ」又は「化学Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者 <p>(B推薦) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の情報又は計算機に関する工業系の学科・課程又は総合学科を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望学科への専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし、総合学科卒業見込みの者については、情報又は計算機に関する科目8単位以上を含む工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者 			

学 科	募 集 人 員		推 薦 人 員
応 用 化 学 科	A 推 薦	10名	制限なし
	B 推 薦	2名	
<p>〔出願資格〕</p> <p>(A推薦) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望学科への専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 高等学校等において「化学Ⅱ」又は「物理Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者 <p>(B推薦) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の化学に関する学科・課程又は総合学科を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望学科への専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし、総合学科卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者 			

※応用化学科志願者は検査場を「大分検査場」「東京検査場」のいずれかから選択できます。詳細は47ページをご覧ください。

学 科	募 集 人 員		推 薦 人 員
福祉環境工学科	建築コース	A 推 薦	3名
		B 推 薦	5名

〔出願資格〕

(A 推薦)

高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望学科・コースへの専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

1. 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者
2. 高等学校等において「物理Ⅱ」又は「化学Ⅱ」を履修している者
3. 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
4. 合格した場合は、入学することを確約できる者

(B 推薦)

高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の**建築系又は土木系**の学科・課程又は**総合学科**を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望学科・コースへの専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

ただし、**総合学科**卒業見込みの者については、**建築又は土木に関する教科・科目を20単位以上修得**（見込みを含む）していなければなりません。

1. 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者
2. 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
3. 合格した場合は、入学することを確約できる者

〔注〕工学部福祉環境工学科には建築コース（50名）とメカトロニクスコース（30名）の2コースがあります。推薦入試の合格者は、入学後は志願時に希望したコースに所属して学びます。

B推薦において、出身学校の学科・課程、履修科目と希望コースが整合しているかどうか疑問の場合は、事前に入試課入試企画グループへ申し出てください。

学 科	募 集 人 員		推 薦 人 員
福祉環境工学科	メカトロニクスコース	A 推 薦	6名
		B 推 薦	2名

〔出願資格〕

(A 推薦)

高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望学科・コースへの専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

1. 高等学校等の学習成績が優秀な者
2. 高等学校等において「物理Ⅱ」又は「化学Ⅱ」を履修している者
3. 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
4. 合格した場合は、入学することを確約できる者

(B 推薦)

高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の**機械系、電気系**の学科・課程又は**総合学科**を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望学科・コースへの専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

ただし、**総合学科**卒業見込みの者については、**機械、電気に関する教科・科目を20単位以上修得**（見込みを含む）していなければなりません。

1. 高等学校等の学習成績が優秀な者
2. 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
3. 合格した場合は、入学することを確約できる者

〔注〕工学部福祉環境工学科には建築コース（50名）とメカトロニクスコース（30名）の2コースがあります。推薦入試の合格者は、入学後は志願時に希望したコースに所属して学びます。

B推薦において、出身学校の学科・課程、履修科目と希望コースが整合しているかどうか疑問の場合は、事前に入試課入試企画グループへ申し出てください。

16. 選抜方法等【工学部】

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、小論文（基礎学力に関する試問・設問を含む）及び面接を総合的に評価し合格者を決定します。

試験日：平成22年12月1日（水）・12月2日（木）

試験日	検査項目	検査時間	集合時刻及び集合場所
12月1日（水）	小論文Ⅰ	10:00～11:00	【大分検査場】 午前9時30分に工学部管理棟玄関前に集合
	小論文Ⅱ	13:00～14:30	【東京検査場】 午前9時30分にコラボ産学官5階小会議室に集合
12月2日（木）	面接	9:40～	【大分検査場】 午前9時15分に工学部管理棟玄関前に集合 【東京検査場】 午前9時15分にコラボ産学官5階小会議室に集合

17. 採点・評価及び配点【工学部】

（1）採点・評価

- ・小論文Ⅰでは、現代社会の抱える課題や科学技術への関心・理解、判断力・表現力をみます。
- ・小論文Ⅱでは、いくつかの設問を通じて基礎学力を含む論理的思考力、課題解決能力をみます。
- ・面接では、志望学科やそれに関わる分野への関心・意欲・理解をみるとともに積極性、自己表現力をみます。また基礎学力に関する試問も含み、理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

（2）配点

- ・試験の各配点は下記のとおりです。

小論文Ⅰ	小論文Ⅱ	面接	調査書・推薦書	合計
100点	200点	100点	100点	500点

【全学部共通事項】

出願手続

障がいのある者等の事前相談

受験の際の宿泊

検査場

合格者発表

入学手続

一般入試への出願

情報提供

その他

18. 出 願 手 続

(1) 出願期間

①大学入試センター試験を課さないもの

- ・平成22年11月2日（火）から11月9日（火）まで（土日及び祝日を除く）
- ・受付時間は、9時から17時まで
- ・郵送の場合は11月9日（火）17時必着です。

②大学入試センター試験を課すもの

教育福祉科学部（生活分野）


- ・平成23年1月17日（月）から1月21日（金）まで
- ・受付時間は、9時から17時まで
- ・郵送の場合は1月21日（金）17時必着です。

(2) 出願方法

出願に当たっては、本要項に添付されている封筒を用い、郵送する場合は**書留速達**としてください。

(3) 出願書類等

書 類 名	内 容 等	該 当 者
入学志願書・受験票	<p>本学所定の用紙に必要な事項を記入し、下記のを貼り付けてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 写真（縦4cm×横3cm、上半身、正面向きで、本人であると確認できるもの。） 2. 大学入試センター試験成績請求票（大学入試センター試験を課すもののみ） 3. 入学検定料郵便振替払込受付証明書（大学提出用） 	全 員
電 算 処 理 原 票	本学所定の用紙に必要な事項を記入してください。	全 員
調 査 書	文部科学省所定の様式で、出身学校長が1（前）学期末現在で作成し、厳封したもの。なお、教育福祉科学部生活分野に出願する者については、2（前）学期末現在で作成し、厳封したもの。	全 員
高 等 学 校 長 等 の 推 薦 書	本学所定の用紙に指導教員及び出身学校長が作成し、厳封したもの。	全 員
志 望 理 由 書	本学所定の用紙に 志願者が自筆 で作成したもの。	教育福祉科学部，経済学部
自 己 推 薦 書	本学所定の用紙に 志願者が自筆 で作成したもの。	医学部（看護学科）
曲 目 調 査 票	本学所定の用紙で提出してください。	教育福祉科学部の音楽選修総合表現コース（音楽表現）
作 品 証 明 書	本学所定の用紙により作成し、指導者及び出身学校長が証明したものを準備の上、面接当日持参する作品2点（作品1点につき1枚）に貼り付けて提出してください。	教育福祉科学部の美術選修総合表現コース（美術表現）
ス ポ ー ツ 等 に 関 す る 調 査 書	本学所定の用紙により作成し、指導者及び出身学校長が証明したもの。	教育福祉科学部の保健体育選修
B 推 薦 に 関 す る 修 得 状 況 証 明 書	本学所定の用紙により作成し、出身学校長等が証明したもの。 該当する「工業に関する教科・科目」における学習内容を示したシラバス（もしくは相当するもの）を添付してください。 （不明な場合には、出願前に入試課入試企画グループまで問い合わせをしてください。）	工学部 （B推薦 総合学科卒業見込みの者のみ）
受 験 票 返 信 用 封 筒	本学所定の封筒に受験者の郵便番号・住所・氏名を明記し、 350円切手 を貼ってください。	全 員

書類名	内容等	該当者
入学検定料払込証明書 (17,000円)	<p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <p>①金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行含む）での払込 本学所定の振込用紙を用い、金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行含む）窓口で振込手続を行ってください。</p> <p>②コンビニエンスストアでの払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ から払込専用ホームページへアクセスするか、直接下記 URL にアクセスし、指示に従い払込手続を行ってください。 (払込専用 URL) http://www.oita-u.net/ (携帯電話用 URL) http://www.oita-u.net/mobile/ ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。</p>  <p>払込後は、①の場合は「郵便振替払込受付証明書（大学提出用）」を、②の場合は収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）を受験票下の貼付欄にはがれないよう糊付けしてください。手数料は本人負担です。 納入した検定料は返還できません。 ただし、入学検定料の額のうち、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者には、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」（平成17年3月31日文科科学省令第20号）第4条に記載された標準額に基づき本学が定める返還額について本学の定める方法により返還します。</p>	全員
合格通知用住所シール	本学所定の用紙に、すべて記入してください。	全員
大学入試センター試験成績請求票 (国公立推薦入試用)	<p>教育福祉科学部人間福祉科学課程生活環境福祉コース生活分野の志願者は、次の大学入試センター試験成績請求票（国公立推薦入試用）を入学志願書に貼り付けてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>平成23センター試験成績請求票</p> <p>推薦 国公立推薦入試用</p> <p>200011 - 1001X - 1</p> <p>(コマハ タロウ)</p> <p>駒場 太郎</p> </div>	教育福祉科学部人間福祉科学課程生活環境福祉コース生活分野の志願者

【注】推薦を行う者については、高等学校長、中等教育学校長、高等専門学校長、高等部を置く特別支援学校長とし、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設等の長を含みます。

(4) 出願上の注意事項

- ア) 国公立大学の推薦入試は、大学入試センター試験を課すもの及び課さないものを含めて、1つの大学・学部しか出願できません。（本学のセンター試験を課さない推薦入試に出願した者は、同一学部が実施するセンター試験を課す推薦入試には出願できません。）
- イ) 出願書類等の不備なものは受付できません。
- ウ) 出願後は、出願書類等の記載内容の変更はできません。
- エ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- オ) 出願時に本学への出願資格として必要な高等学校での修得科目等を修得予定の者（未修得者）は、入学時に修得の有無を確認し、未修得の場合は入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- カ) 出願書類等は受付後は返却できません。

(5) 受験票は受付完了後、本人宛に送付します。

(6) 出願書類の提出先

〒870 - 1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課入試企画グループ TEL097 - 554 - 7471

19. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

大学入試センター試験を課さないものの志願者は、平成22年10月20日（水）まで、大学入試センター試験を課すものの志願者は平成22年12月17日（金）までに申し出てください。ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になった場合には、その旨申し出てください。

(2) 申出方法

本要項に添付している入学者選抜試験特別措置申請書（健康診断書等必要書類添付）を提出し、必要な場合は本学において、志願者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870 - 1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課入試企画グループ TEL097 - 554 - 7471

20. 受験の際の宿泊

宿泊を希望する者は、この「学生募集要項」に同封している「宿泊のご案内」を参照してください。

21. 検査場

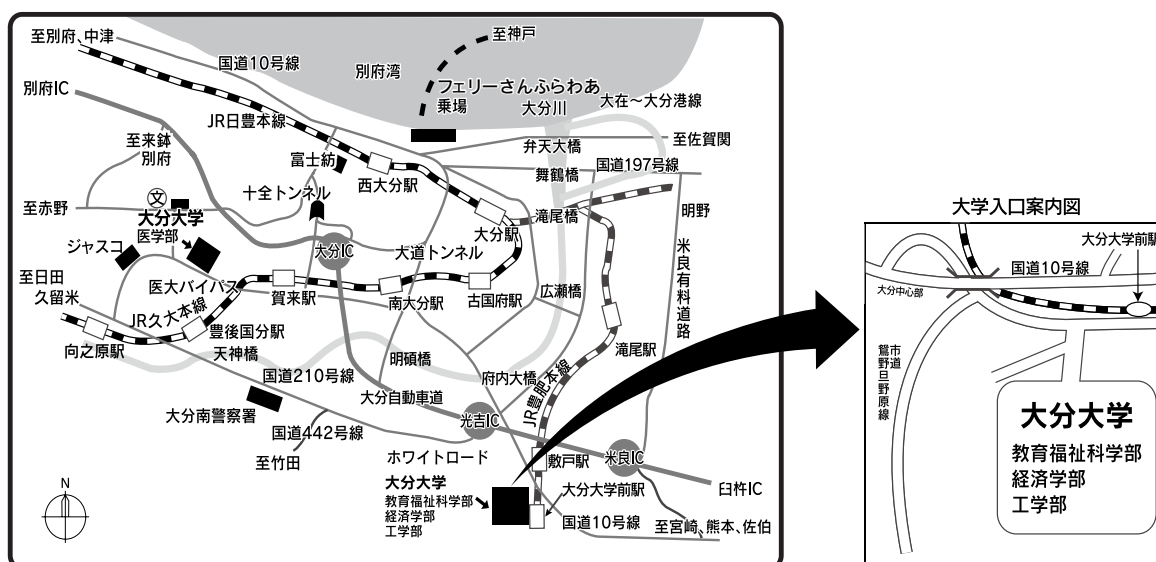
検査場は「大分検査場」と「東京検査場」の2会場がありますが、工学部応用化学科志願者のみ「大分検査場」または「東京検査場」を選択することができます。他の学部、学科等の志願者が「東京検査場」を選択しても受験できませんので十分注意してください。

【大分検査場】

- (1) 検査室の下見は、各検査日前日の14時～16時の間に行ってください。ただし、挟間キャンパスについては、建物内に入ることはできません。
- (2) 各学部検査場及び各検査室は掲示板で確認してください。
- (3) 検査当日、自動車等で来学する場合は、係員の指示に従ってください。

なお、旦野原キャンパス（教育福祉科学部、経済学部、工学部：大分市大字旦野原700番地）には自動車の入構はできますが、駐車場に限りがありますので、できる限り公共交通機関等を利用してください。また、挟間キャンパス（医学部：由布市挾間町医大ケ丘1丁目1番地）には十分な駐車場がありませんので、公共交通機関等を利用してください。

大分大学位置図



旦野原キャンパス

対象学部 教育福祉科学部・経済学部・工学部

所在地 大分市大字旦野原700番地

電話 097-554-7471 (学生支援部入試課入試企画グループ)

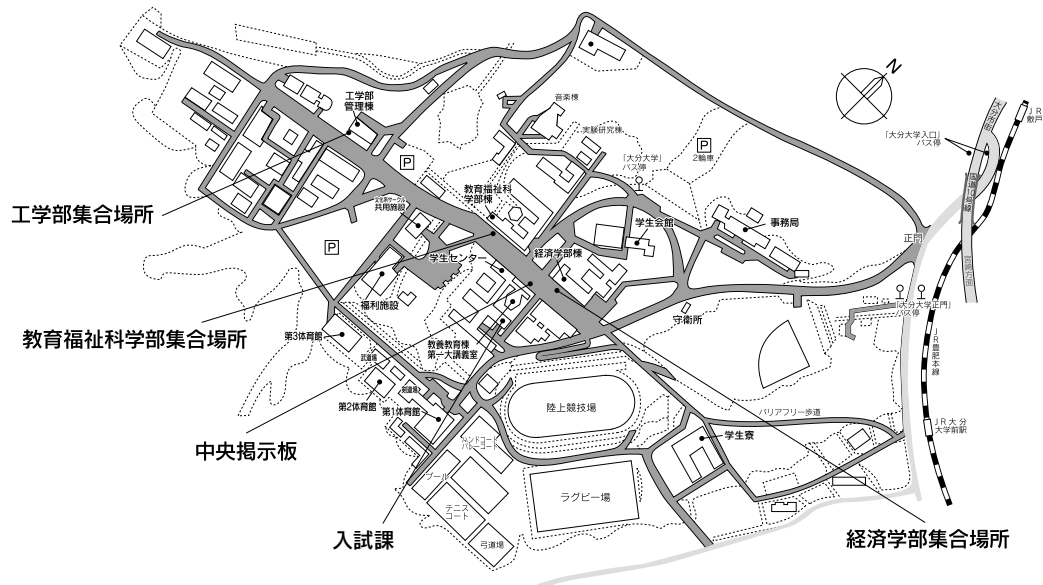
交通アクセス

<バス利用>○大分バス本社前〔トキハデパート(府内町)前〕1番のりばから、「大南団地・高江ニュータウン」又は「大分大学」行きを利用。「大分大学」又は「大分大学正門」下車(約40分:360円)

○「戸次、白杵、竹田、佐伯」行き等を利用。「大分大学入口」下車(約40分:350円)、徒歩約10分

<JR利用>○JR豊肥本線「大分大学前駅」下車(大分駅より約12分:240円)、徒歩約10分

学内案内図



挾間キャンパス

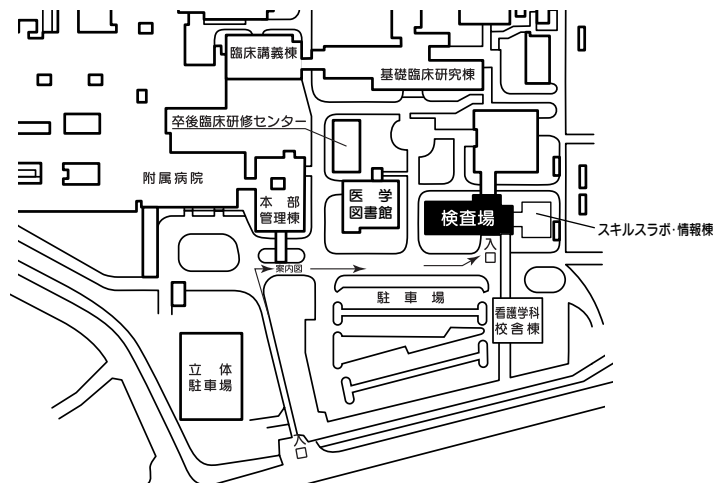
対象学部 医学部

所在地 由布市挾間町医大ケ丘1丁目1番地

電話 097-586-5540 (学生支援部学務課入学試験係)

交通アクセス

<バス利用>大分バス本社前〔トキハデパート(府内町)前〕2番のりば又はJR大分駅前3番のりばから、「大学病院」行きを利用。「大学病院」下車(約40分:410円)



【東京検査場】

- (1) 検査室の下見は、検査日前日の14時～16時の間に行ってください。
- (2) 検査室は掲示で確認してください。
- (3) 東京検査場には駐車場がありませんので、公共交通機関等を利用してください。

コラボ産学官プラザ

対象学部 工学部（応用化学科のみ）

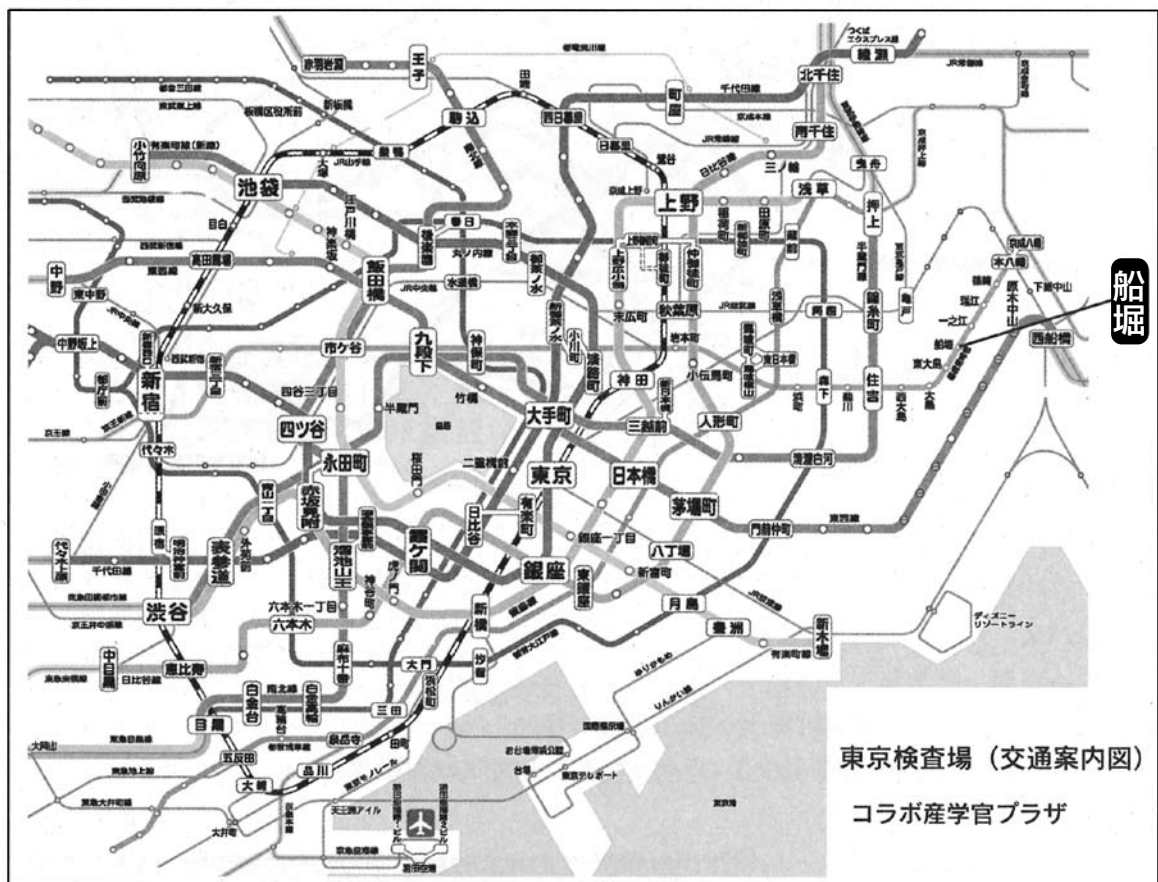
他の学部、学科等の志願者は東京検査場で受験できません。

所在地 東京都江戸川区船堀3-5-2 4朝日信用金庫船堀センター内

電話 03-5696-9425（コラボ産学官事務局）

交通アクセス

- 都営新宿線「船堀駅」から徒歩約1分



22. 合格者発表

合格者は、次のとおり大分大学教養教育棟前の掲示板（全学部合格者）及び医学部管理棟前（医学部合格者）に「掲示」とともに、本人宛に「合格通知」を送付します。また、「25. 情報提供」欄の「大分大学ホームページへの合格者受験番号の掲載について」も利用できます。

※ 出身高等学校長等宛にも選考結果を通知します。

※ これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

大学入試センター試験を課さないもの	平成22年12月14日（火） 10時
大学入試センター試験を課すもの	平成23年 2月 9日（水） 10時

23. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

なお、平成23年度大学入試センター試験受験者は**大学入試センター試験受験票**も必要ですので、受験後も大切に保管しておいてください。

(1) 入学手続期日

平成23年2月13日（日）・14日（月）	受付時間は9時～17時です。
----------------------	----------------

※入学手続の詳細は2月初旬ごろ郵送します。

※推薦入試合格者は出願要件にて「入学することを確約できる者」となっています。

ただし、特別の事情により本学に入学できなくなった場合、出身学校長は至急「推薦入試入学辞退願」を大分大学長宛に提出してください。2月14日（月）までに許可された場合は入学辞退することができます。

2月14日（月）17時までに入学手続きを完了しないときは、本学の推薦入試合格者としての権利を消失します。

入学辞退が許可された場合を除き、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）の入学許可は得られません。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

(2) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）

注1. 入学料及び授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。

（学生支援課奨学支援グループ TEL 097-554-7386 にお問い合わせください。）

注2. 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に、後期分と合わせて1年分の納付もできます。

注3. 入学料・授業料は改定される可能性があります。

なお、在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

注4. 既納の入学料は返還できません。

24. 一般入試への出願

推薦入試（大学入試センター試験を課さないもの）志願者が不合格となった場合は、前期日程から1つ、後期日程から1つの合計2つまでの大学・学部に出願することができます。

推薦入試（大学入試センター試験を課すもの）志願者が不合格となった場合に備えて、前期日程から1つ、後期日程から1つの合計2つまでの大学・学部に出願することができます。

25. 情報提供

(1) 大分大学ホームページへの合格者受験番号の掲載について

下記の期間、大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) からアクセスできます。

大学入試センター試験を課さないもの	平成22年12月14日(火) 10時～12月20日(月)
大学入試センター試験を課すもの	平成23年2月9日(水) 10時～2月15日(火)

(2) 本学の情報は同じホームページでご覧になれます。

(3) 推薦入試個人成績の開示について

本学においては、大分大学推薦入試個人成績を本人に限って開示します。

開示を希望される方は、次の要領で申し込んでください。

申込期間：平成23年5月9日(月) から6月30日(木) まで

※土日は除きます。

申込者：受験者本人に限ります。(代理人は不可)

申込方法：下記の書類等を持参又は郵送で本学入試課に提出してください。

- ① 入学試験個人成績開示申請書※
- ② 推薦入試の受験票のコピー
- ③ 写真付きの身分証明書のコピー
- ④ 返信用封筒(長形3号の封筒に本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、380円分の切手を貼り簡易書留郵便としてください。)

※入学試験個人成績開示申請書は、次のいずれかの方法により取り寄せてください。

- ・本学入試課に直接来学する。
- ・大分大学ホームページから印刷して使用する。
- ・本学入試課宛に返信用封筒(長形3号の封筒に本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、80円分の切手を貼ったもの)を送る。なお、封筒の表に朱書きで「入学試験個人成績開示申請書請求」と明記してください。

開示方法：受験者本人宛に簡易書留郵便で後日送付します。

開示内容：平成23年3月下旬に、上記ホームページでお知らせします。

26. その他

- (1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される旨、お知らせします。
- (2) 志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除(猶予)及び奨学金を申請した方については、選考資料として利用します。
- (3) 本学生募集要項に明記されている期日による試験実施が困難となる様な不測の事態が発生した場合は本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に対応の詳細をすみやかに掲載します。なお、不測の事態が発生した場合の問い合わせ先は大分大学学生支援部入試課(TEL097-554-7471)です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。
- (4) 工学部応用化学科志願者で、東京検査場を希望する者は、試験中における不慮の事故・疾病等で医師の診断・治療等が必要な場合、本学と提携した近隣の医院にて保険診療を受けますので、健康保険証(コピーでも可)を必ず持参してください。

入学試験に関する問い合わせ先

〒870-1192 おおいたし おおあざだんのはる
大分市大字巨野原700番地
大分大学学生支援部入試課入試企画グループ
TEL 097-554-7471

古紙再生紙を使用しています